

安全・安心のまちづくりに向けて

歩車共存化整備をすすめます



歩車共存化整備 施工イメージ

市では、年齢、性別、能力などにかかわらず、すべての人が共に支え合う中で安心して暮らし、持てる力を発揮して元気に活動できる、ユニバーサル社会づくりに取り組んでいます。

平成19年2月には、社市街地区が北播磨で初めて県の「ユニバーサル社会づくり実践モデル地区」の指定を受け、「ユニバーサル社会づくり実践モデル地区事業プラン」を策定されました。

このプランに基づきまちづくりの一環として、モデル地区内の「歩車共存化整備」をすすめています。

が、このたび、平成20年度に整備した市道社赤岸線につづく、今後の整備計画が決定しました。

この整備を行うことで、中心市街地の魅力を高め、まちの活力を創出します。

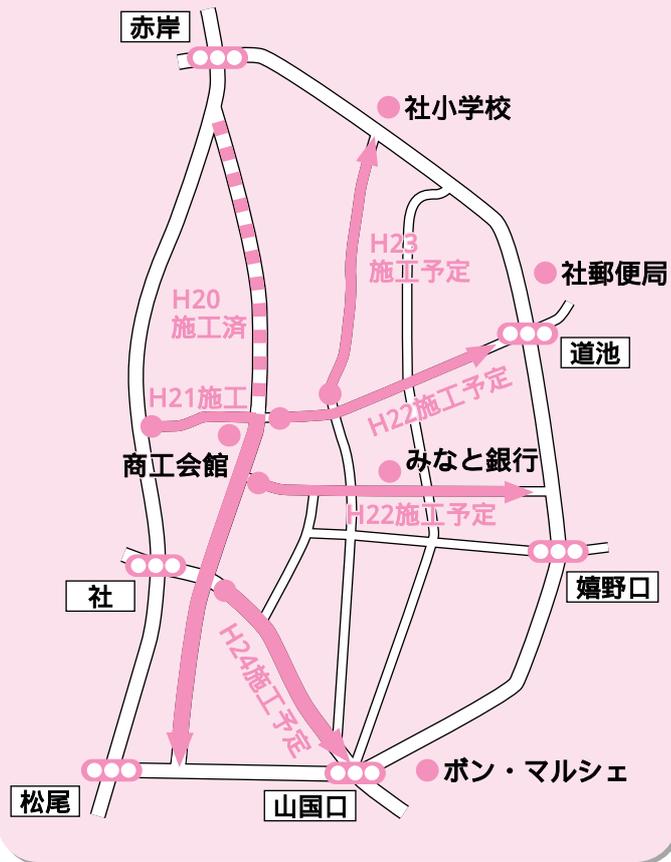
また、その成果は、誰もが安全で安心して暮らせる加東市づくりへと生かしていく予定です。

なお、この計画の詳細図面は加東市商工会館ロビーに掲示しています。問い合わせ

建設部土木課（滝野庁舎）
☎48・3418



歩車共存化 整備路線図



歩車共存道路とは

歩行者空間を組み合わせ、自動車の速度を抑え、歩行者との共存を図る道路のことです。

今回の整備では、歩道のカラー舗装により、歩車共存化を図ります。

市民病院からのお知らせ

新型MRIを導入します

1月25日から、市民病院において最新鋭のMRI装置が稼働します。



同様の機能を持つ装置の導入は、近隣では加東市民病院が初めてとなります。

これにより、従来よりも短時間で、より鮮明な画像や、多くの診断情報が得られるようになります。

【特徴】

「狭い」を改善

トンネル部が短く、広々とした空間で、リラクセスして検査を受けていただけます。

「ごんごん」を改善

検査時の音がとても静かです。

「検査時間が長い」を改善

高い性能により、検査時間が大幅に短縮されます。

「痛い、副作用が心配」を改善

造影剤を使わずに、全身の血管を撮影できます。

問い合わせ

市民病院放射線科
☎42・5511